

第13回

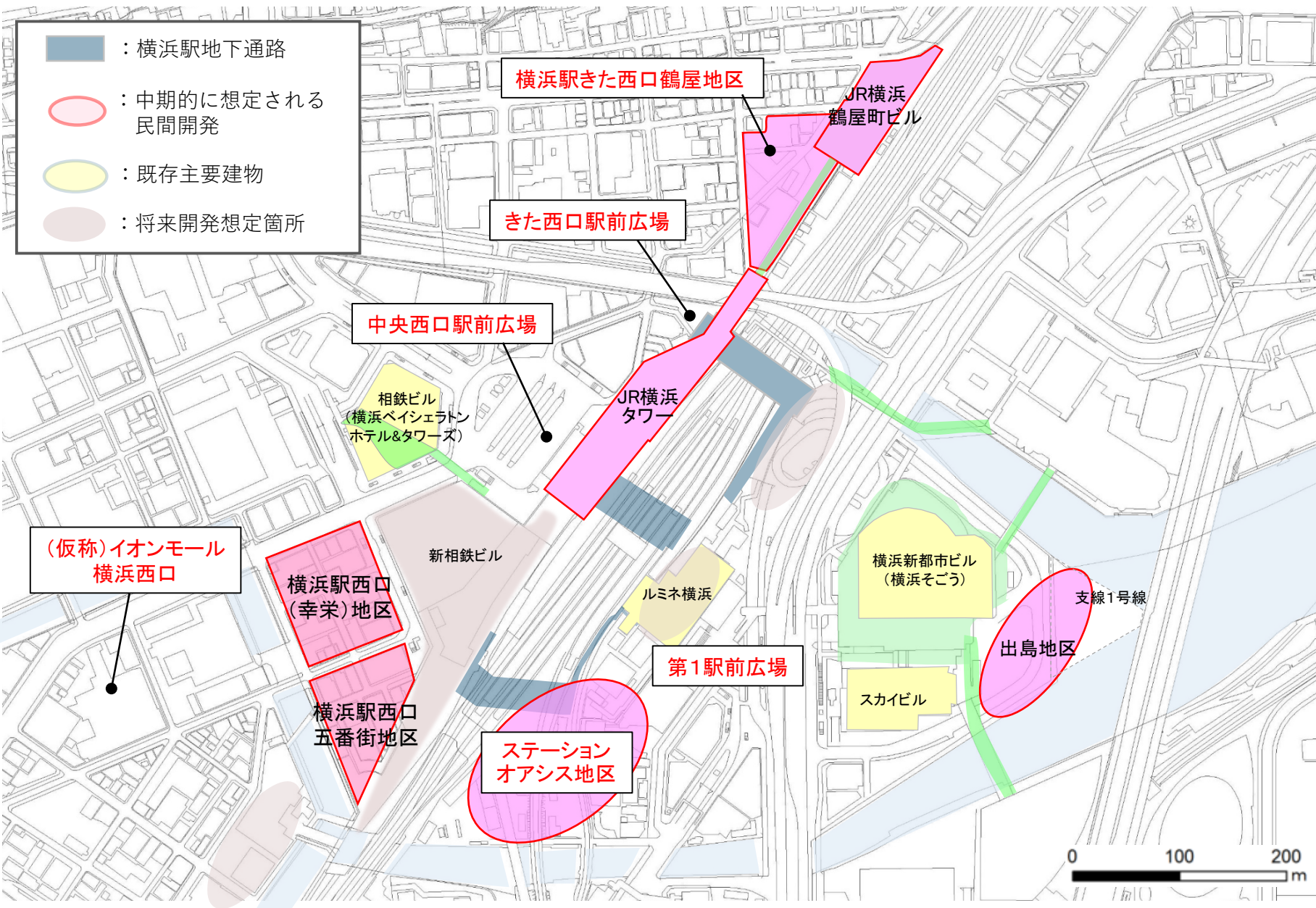
エキサイトよこはま22

懇談会

2023年7月

| | | |
|---|----------------------------------|----|
| 1 | エキサイトよこはま 2 2 各取組・工事等の進捗状況 _____ | 3 |
| ○ | 西口周辺 _____ | 4 |
| ○ | 東口周辺 _____ | 9 |
| ○ | 治水・親水 _____ | 12 |
| ○ | 防災 _____ | 17 |
| ○ | エリアマネジメント _____ | 19 |
| 2 | エキサイトよこはま 2 2 の更新について _____ | 21 |
| ○ | 横浜駅周辺を取り巻く状況 _____ | 22 |
| ○ | 事業、取組の進捗状況 _____ | 29 |
| ○ | 社会情勢の変化 _____ | 31 |
| ○ | 横浜駅の位置付けと近年の動向 _____ | 37 |
| ○ | 更新の方向性とランドデザイン _____ | 42 |

1 エキサイトよこはま 2 2 各取組・工事等の進捗状況



1 エキサイトよこはま 2.2 各取組・工事等の進捗状況

○ 西口周辺

- ・ 中央西口駅前広場
- ・ きた西口駅前広場
- ・ 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業
- ・ ダイエー跡地（仮称）イオンモール横浜西口

○ 東口周辺

- ・ ステーションオアシス地区開発
- ・ 駅前広場の再編

○ 治水・親水

○ 防災

○ エリアマネジメント

1 エキサイトよこはま 2 2 各取組・工事等の進捗状況

○ 西口周辺 < 中央西口駅前広場 >

令和4年度に高島屋前の屋根の供用を開始しました。
今後は、舗装整備を関係者と調整して実施していく予定です。



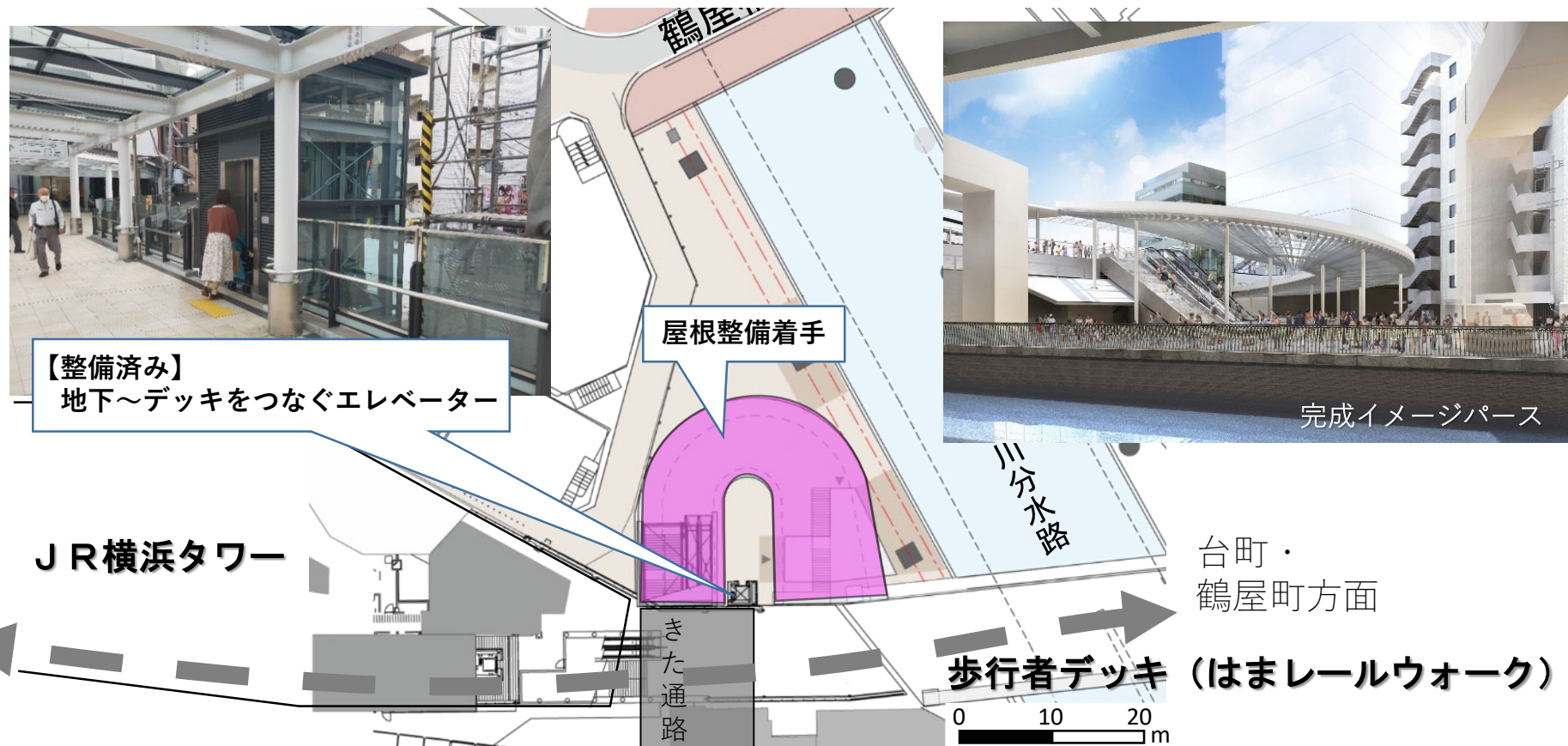
※整備内容については、関係者との協議により、一部変更する可能性があります。

1 エキサイトよこはま2 2各取組・工事等の進捗状況

○ 西口周辺 <きた西口駅前広場>

令和4年度は、屋根整備に向け、関係者協議等を行いながら工事を進めてきました。

引き続き工事を進め、5年度中の屋根完成を予定しています。
次年度以降は舗装などの整備を実施していく予定です。



※整備内容については、関係者との協議により、一部変更する可能性があります。

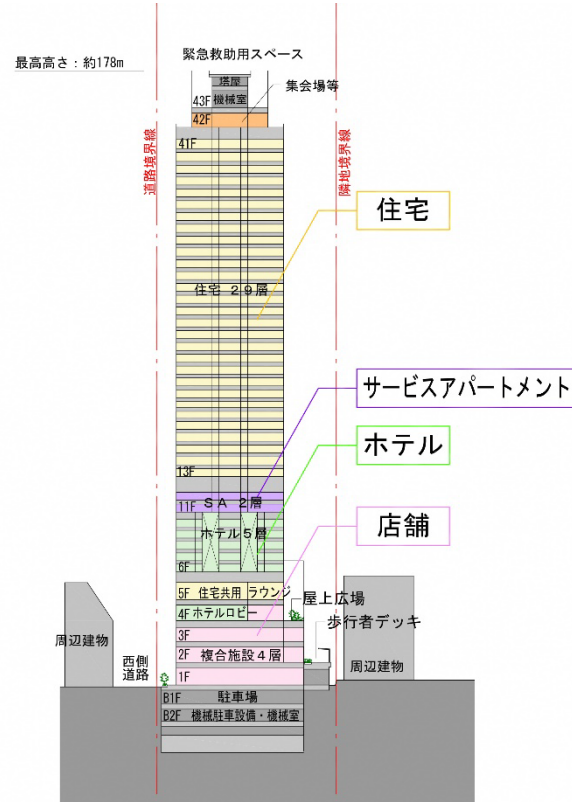
1 エキサイトよこはま 2 2 各取組・工事等の進捗状況

○ 西口周辺 <横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業> 「THE YOKOHAMA FRONT / ザ ヨコハマ フロント」

令和元年度に、新築工事着手し、4年度に棟上げを迎えました。
5年度末の竣工を予定しています。（事業完了 7年度予定）



令和5年6月撮影



※図は、現時点で想定しているイメージであり、今後変更する場合があります。7

1 エキサイトよこはま 2 各取組・工事等の進捗状況

○ 西口周辺 <ダイエー跡地 (仮称)イオンモール横浜西口>

令和3年度に解体工事に着手し、現在建築工事を進めています。

商業施設は、5年の秋頃の開業、
住宅施設は、7年1月竣工を予定されています。



令和4年2月撮影

住宅施設

商業施設



パルナード通り

横浜ビブレ(既存)



令和5年5月撮影

※図は、現時点で想定しているイメージであり、今後変更する場合があります。

1 エキサイトよこはま 2 2 各取組・工事等の進捗状況

○ 西口周辺

- ・ 中央西口駅前広場
- ・ きた西口駅前広場
- ・ 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業
- ・ ダイエー跡地（仮称）イオンモール横浜西口

○ 東口周辺

- ・ ステーションオアシス地区開発
- ・ 駅前広場の再編

○ 治水・親水

○ 防災

○ エリアマネジメント

1 エキサイトよこはま 2 2 各取組・工事等の進捗状況

○ 東口周辺 <ステーションオアシス地区開発>

令和4年度は、ステーションオアシス協議会において、基盤整備と連携した施設計画や、その事業性について検討を行いました。

5年度は、事業計画の検討を進め、早期の事業化を目指します。



1 エキサイトよこはま 2 2 各取組・工事等の進捗状況

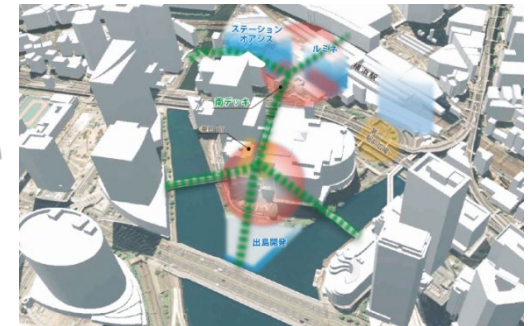
○ 東口周辺 < 駅前広場の再編 >

令和4年度は、ステーションオアシス地区の開発に合わせた駅前広場やデッキ等の基盤整備計画の検討を行いました。

5年度は引き続き、計画の深度化を図り、東口の歩行者ネットワークの形成とみなとみらい21地区との連携強化を推進します。

Open Sky Terminal

グローバルな交流拠点となり、国際都市の玄関口にふさわしい魅力に満ちた、安全で誇れるまちを目指します。



方針1

世界への玄関口、首都圏のリーディング都市となるマルチモーダルハブの形成

- ①首都圏最多の交通モードが集積する多機能交通ターミナル
- ②様々な利用者が満足して利用できる国内外や都心臨海部へのアクセシビリティ
- ③重層的に多様な都市基盤が複合整備された駅前空間
- ④多様なニーズを想定した分かりやすい歩行者動線

方針2

港町としてのシビックプライドを持ち、賑わいと憩いのあるシンボリックな横浜の顔づくり

- ①港町の風土・文化を継承し、横浜都心臨海部の核、顔としてふさわしい空間
- ②リンク&プレイスを意識した、適切な位置・規模のオープンスペース
- ③ウォーターフロントを活かした憩い
- ④クリエイティブワーカーが集うイノベーションや情報発信の拠点化

方針3

グローバル水準の都市機能を導入し、持続的な発展や次世代へつなげる未来都市を実現

- ①世界から信頼される地域防災力を備えた都市拠点
- ②柔軟性・可変性があり、時代の変化に適切
- ③DX化への対応による利便性の向上、唯一無二の体験、世界に誇る先進的空間
- ④日本屈指の産学官民の連携力を活かしたSDGs, ESC投資の牽引

1 エキサイトよこはま 2.2 各取組・工事等の進捗状況

○ 西口周辺

- ・ 中央西口駅前広場
- ・ きた西口駅前広場
- ・ 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業
- ・ ダイエー跡地（仮称）イオンモール横浜西口

○ 東口周辺

- ・ ステーションオアシス地区開発
- ・ 駅前広場の再編

○ 治水・親水

○ 防災

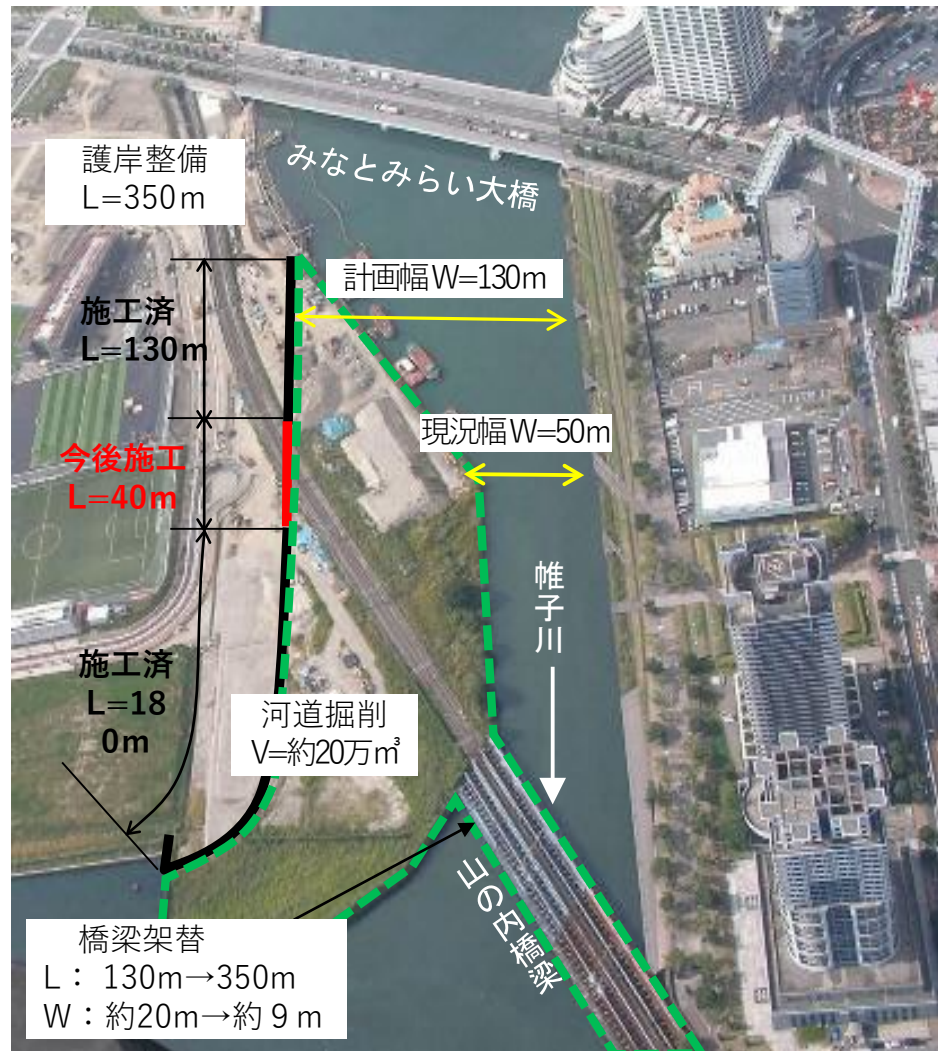
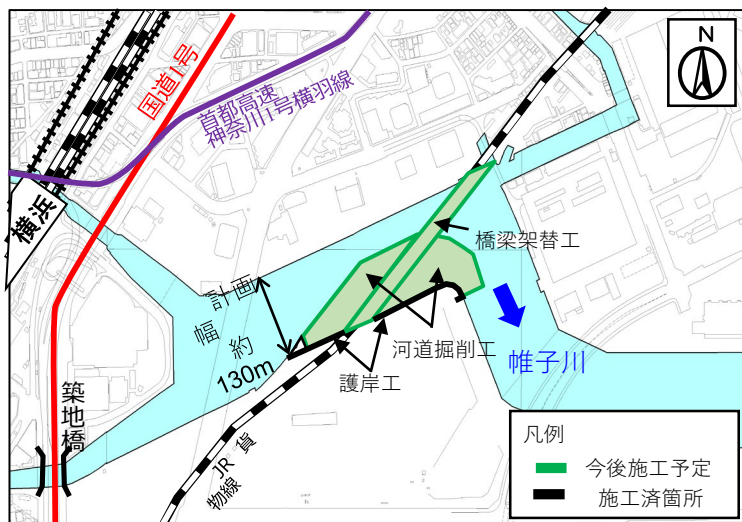
○ エリアマネジメント

1 エキサイトよこはま 2 2 各取組・工事等の進捗状況

○ 治水・親水 <河川の取組>

しゅんせつ

治水安全度を高めるため、浚渫工事等の対策を行っています。また、帷子川河口部の拡幅に向けた協議・検討を進めます。



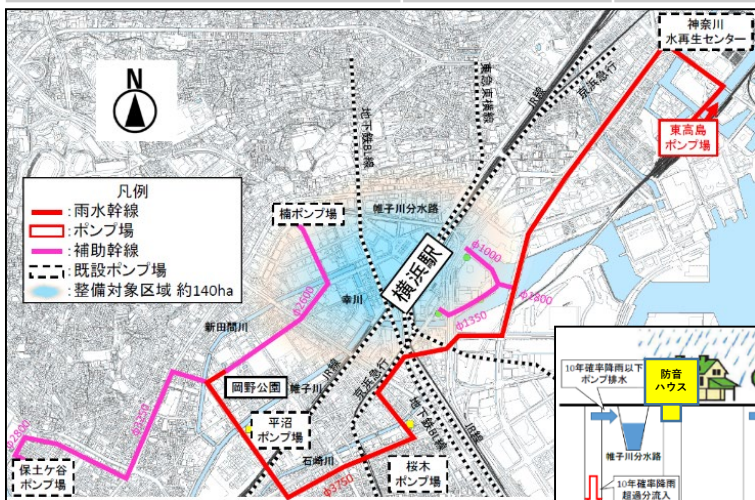
1 エキサイトよこはま2 2各取組・工事等の進捗状況

○ 治水・親水 < 公共下水道の整備 >

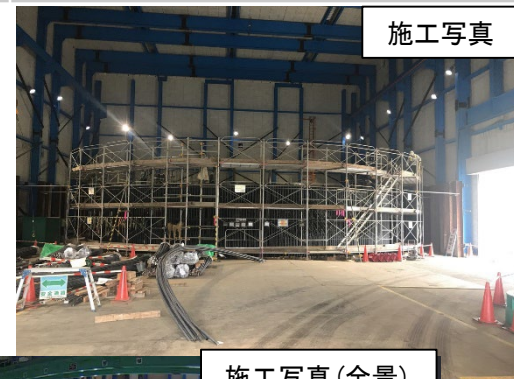
西区の岡野公園グラウンド内にて、雨水幹線整備のための立坑の築造の工事を行っています。

令和5年度は、引き続き立坑の築造や、雨水幹線本体の工事の準備を進めます。

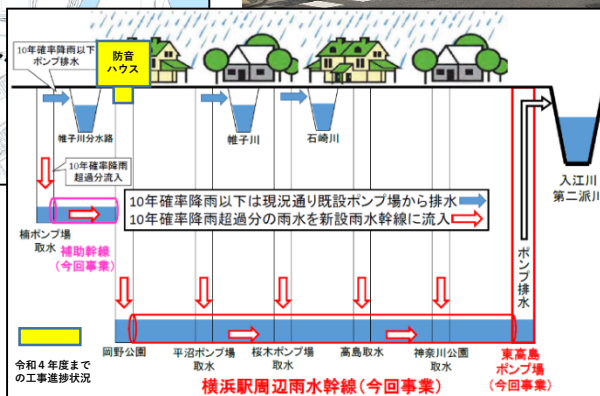
| 事業スケジュール | 総事業費 | 雨水幹線の諸元 | 補助幹線の諸元 | 雨水ポンプ場の諸元 |
|-------------------------|--------|-------------------------|-----------------------------|---|
| 令和2年度工事着手 令和12年度竣工予定 | 約410億円 | 内径：φ3750mm 延長：約4.9km | 内径：φ700～3250mm 延長：約3.2km | 規模：幅30m×長50m×深60m 能力：約6.0m ³ /s |



施工写真(外観)



施工写真



施工写真(全景)

1 エキサイトよこはま 2 2 各取組・工事等の進捗状況

○ 治水・親水 < 下水道管内水位の情報提供 >

令和3年6月から横浜駅西口4か所の下水道水位情報を本市ウェブサイト
で発信しています。

5年5月31日に横浜駅東口2か所の下水道管内の水位情報を追加しました。



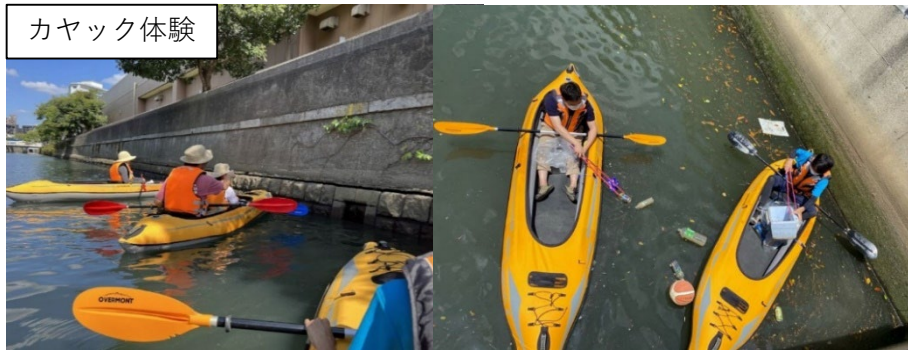
1 エキサイトよこはま 2 2 各取組・工事等の進捗状況

○ 治水・親水 <水辺空間活用>

令和4年度は、カヤック体験とあわせた清掃活動や、水辺空間活用に際しての生物調査等が行われました。

5年度も引き続きエリアマネジメント活動と連携しながら取組を進めていきます。

カヤック体験



生物調査



お花見カヤック



イルミネーションカヤック



令和4年度：計22回実施 75名が参加

令和4年度：5回実施

1 エキサイトよこはま 2.2 各取組・工事等の進捗状況

○ 西口周辺

- ・ 中央西口駅前広場
- ・ きた西口駅前広場
- ・ 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業
- ・ ダイエー跡地（仮称）イオンモール横浜西口

○ 東口周辺

- ・ ステーションオアシス地区開発
- ・ 駅前広場の再編

○ 治水・親水

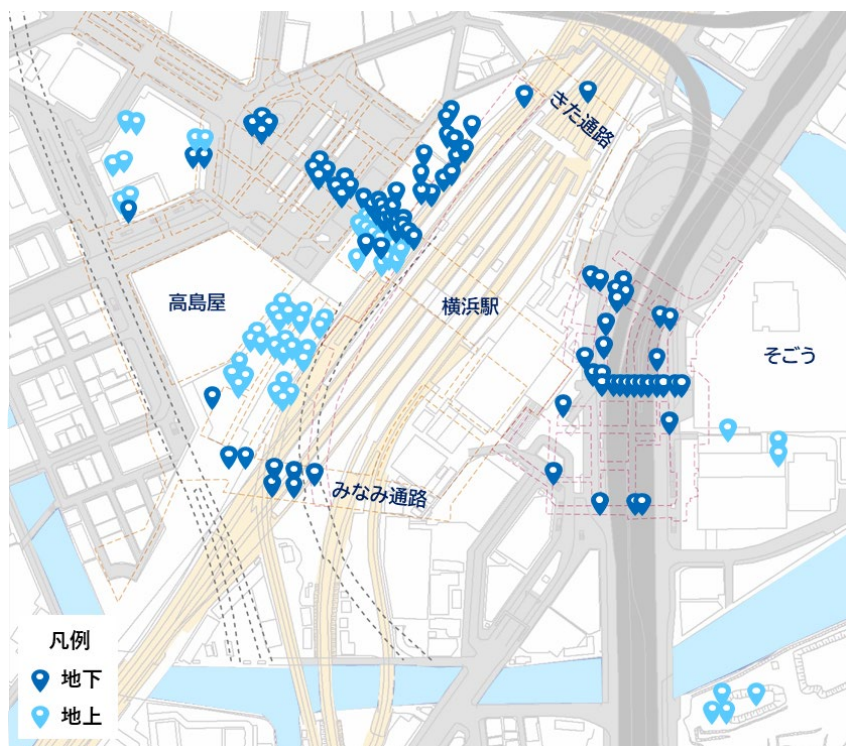
○ 防災

○ エリアマネジメント

1 エキサイトよこはま 2 2 各取組・工事等の進捗状況

○ 防災 <デジタルサイネージの活用>

令和5年7月より、関係事業者と協働して、9事業者142箇所のデジタルサイネージを活用した災害時の情報発信の運用を開始しました。発災時における避難等の情報や、平時における防災啓発の発信を行っています。



デジタルサイネージ活用箇所



発災時の情報発信イメージ



平時の防災啓発動画

1 エキサイトよこはま 2.2 各取組・工事等の進捗状況

○ 西口周辺

- ・ 中央西口駅前広場
- ・ きた西口駅前広場
- ・ 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業
- ・ ダイエー跡地（仮称）イオンモール横浜西口

○ 東口周辺

- ・ ステーションオアシス地区開発
- ・ 駅前広場の再編

○ 治水

○ 親水

○ 防災

○ エリアマネジメント

1 エキサイトよこはま 2 2 各取組・工事等の進捗状況

○ エリアマネジメント

令和4年度は、公開空地を活用したイベントや「ヨルノヨ」と連携したイルミネーションを実施しました。また、ハロウィンイベントの広報や鉄道150周年の横浜えきまつり等、駅周辺が一体となって取り組みました。大規模集客施設の開業も見据え、引き続きにぎわい創出に取り組みます。

来街者促進の取組

快適な環境づくり



公共空間の活用

地区内連携(駅周辺一体となった取組)



2 エキサイトよこはま22の更新について

○ エキサイトよこはま22計画の更新～更新の必要性

将来の社会経済情勢の大きな変化や様々な社会的課題に対応すべく、将来にわたって持続可能なまちづくりが求められています。そのため、策定当初に立てた戦略・方針・目標に対する再評価や検証を行い、計画の更新に取り組みます。

SDGs 未来都市・横浜 ～SDGs FutureCity YOKOHAMA～



参考：横浜市
「SDGs 未来都市・横浜」パンフレット

生活 様式

コロナ禍を契機とした、新しい生活様式

- ・ウォークアブルな空間
- ・ゆとりある空間やオープンスペースと緑
- ・リアルな出会いや交流、実体験の場
- ・公共交通のあり方 など

技術 革新

AIやIoT化といったデジタル化の進展、DXによる技術革新

- ・DXの推進 ・データや新技術の活用
- ・自動運転 ・MaaS ・新たな交通モード など

環境 対策

地球温暖化、気候変動の影響 に対する環境対策

- ・脱炭素化 ・再生可能エネルギー
- ・新たなエネルギー資源 など

防災 対策

激甚化する災害、切迫する大規模地震 に対する防災対策

- ・事業継続計画(BCP) ・防災レジリエンス(回復力)
- ・都市防災、事前防災のあり方 ・多様な避難環境 など

2 エキサイトよこはま22の更新について

○ 横浜駅周辺を取り巻く状況

- 事業、取組の進捗状況
- 社会情勢の変化
- 横浜駅の位置付けと近年の動向
- 更新の方向性とランドデザイン

2 エキサイトよこはま22の更新について

○ 横浜駅周辺を取り巻く状況 <中期計画2022-2025 (R4.12)>

計画では、2040年頃の横浜のありたい姿を「共に目指す都市像」として提示しています。これを実現するための戦略、政策及び施策を示しており、施策として「横浜駅周辺のまちづくりの推進」が位置付けられています。

II 共にめざす都市像（めざす未来の具体像）

市民生活 の未来

暮らしやすく誰もが WELL-BEING[※]を実現できるまち

社会や時代の変化に適応しながら、あらゆる世代・多様な市民の皆様、一人ひとりが自分らしく活躍でき、いきいきと安心して暮らすことのできる、そのような市民生活の実現を目指します。

都市 の未来

人や企業が集い、つながり、 新しい価値を生み出し続けるまち

これまでの歴史の中で、受け難い様々な価値と、新たに生み出す価値を織り交ぜながら、常に変化し、独自の魅力を発信し続け、人と企業が集う都市を目指します。

都市基盤 の未来

変化する時代・社会に適応し、市民生活や 都市を支える新しい在り方を実現し続けるまち

交通インフラ、脱炭素、環境保全、災害対策など、横浜での暮らしや様々な活動を支え、持続可能な都市として発展・進化し続けるための強い基盤づくりを目指します。

※ WELL-BEING：幸福で肉体的、精神的、社会的全てにおいて満たされた状態のこと。

戦略6

成長と活力を生み出す都心・臨海部のまちづくり

政策29

活力ある都心部・臨海部のまちづくり

◎ 主な施策

横浜駅・みなとみらい・東神奈川臨海部周辺の街づくりの推進

横浜駅周辺（エキサイトよこはま22）、みなとみらい21、東神奈川臨海部周辺の開発などを通じて、国内外の多様なニーズに対応した、都心にふさわしい高度な商業・業務・居住機能の集積を進めます。また、民間の街区開発と連携して計画的に基盤整備を進めるとともに、イベント開催時の混雑改善にむけた先端技術の活用、エリアマネジメントの活性化による地区の魅力づくりや公民連携による大都市脱炭素モデル[※]の構築に取り組めます。

※令和4年4月にみなとみらい21地区が、環境省が実施する「脱炭素先行地域」に選定

2 エキサイトよこはま22の更新について

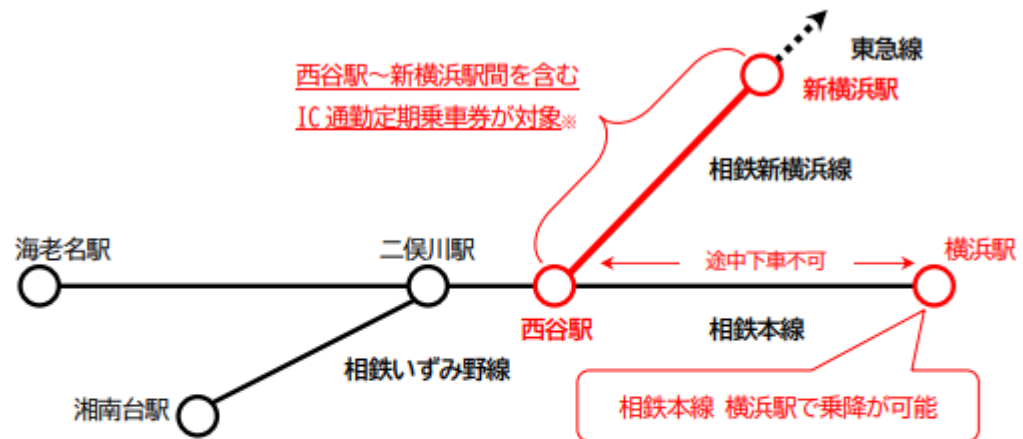
○横浜駅周辺を取り巻く状況 <神奈川東部方面線>

東京都心部との速達性の向上等のため、相鉄・JR直通線、相鉄・東急直通線が開業しました。

相模鉄道(株)では「西谷駅～新横浜駅」を含む通勤定期券をお持ちの方が、横浜駅での乗降が可能となる新サービス「YOKOHAMAどっちも定期」を開始しています。



【新サービスのイメージ】



※他社路線の横浜駅はご利用いただけません。

※IC通学定期乗車券および磁気定期乗車券は、新サービスの対象外です。

例えば、平日は相鉄新横浜線経由でラクラク通勤、休日は横浜駅周辺でお買い物、といったご利用が可能となります。

出典：相模鉄道(株) 報道発表資料 (R4.9.1)

2 エキサイトよこはま22の更新について

○横浜駅周辺を取り巻く状況 <GREEN × EXPO 2027>

2027年国際園芸博覧会に向けた取組を進めています。

「幸せを創る明日の風景」をテーマに、自然・人・社会が「共に持続するための最適解」を横浜の地で描いていきます。

地球温暖化をはじめとする人類共通の課題に対してグリーンの力を活用した解決策を提示し、それをショーケースとして世界に力強く発信します。



2 エキサイトよこはま22の更新について



○横浜駅周辺を取り巻く状況 <GREEN×EXPO 2027>

正式略称「GREEN×EXPO 2027」は、「自然」、「環境にやさしい」という意味を持つ「GREEN」と、国際的に共通する課題の解決に寄与する国際博覧会「EXPO」を掛け合わせることで、これからの自然と人、社会の持続可能性を追求し、世界と共有する場であることを表現しています。



<会場全体イメージ図>
(公社) 2027年国際園芸博覧会協会提供

略称ロゴ

2 エキサイトよこはま2 2の更新について

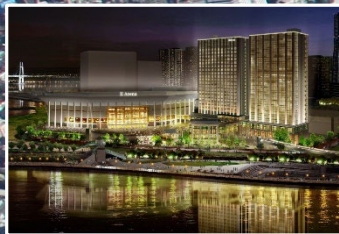
○横浜駅周辺を取り巻く状況 <みなとみらい2 1地区の開発状況>

令和5年度は2棟が竣工予定で、街区開発の進捗率は96%となっています。

横浜シンフォステージ
(オフィス、店舗、オープンイノベーションスペース、ホテル等)
令和6年3月 竣工予定



横浜コネクトスクエア
(オフィス、ホテル、店舗、駐車場)
令和5年1月 竣工



Kアリーナプロジェクト
(アリーナ、ホテル、オフィス)
令和5年7月 竣工予定

2 エキサイトよこはま22の更新について

○横浜駅周辺を取り巻く状況 <都心臨海部のにぎわいづくり>

まちの地域資源をつないで横浜の魅力を体験する「花咲くRally」を開催するなど、都心臨海部のにぎわいづくりを進めています。

1 さくらマーケット
3/25 横浜駅西口エリア

2 みなとみらい21さくらフェスタ2023
3/18~3/26 みなとみらい21エリア

3 横浜北仲マルシェ
4/15・16、5/20・21
北仲ブリック&ホワイト 1F 歴史広場

4 横浜ローズウィーク2023
5/3~6/12
横浜市役所、山下公園、アメリカ山公園
山手イタリア山庭園、野毛山公園

5 関内フード&ハイカラフェスタ
4/16 弁天通り、関内桜通り

6 よこはま花と緑の春フェア
4/8~5/5
横浜公園、日本大通り、山下公園

7 蟠桃園
5/12~5/30 横浜中華街

8 Motomachi Garden Party 2023
4/29~6/11 元町

9 野毛大道芸
4/22・23 野毛

10 大岡川水上劇場2023
5/21 横浜日ノ出棧橋

11 歌丸桜フェスティバル
3/18・19 大通り公園

12 南区制80周年記念 みなみ桜まつり
3/25・26 蒔田公園

★ ガーデンネックレス横浜2023スタンプスポット
3/25~6/11

▲ 山下公園のバラ (5月~6月)

▲ 横浜公園のチューリップ (4月~5月)

宿泊施設

観光施設

飲食店

0.5 1km



▲まちあるきツアー



▲小型モビリティツアー

▲デジタルスタンプラリー

【花咲くRally】 地域の魅力資源（飲食店・観光施設・イベント会場等）をめぐるラリー

2 エキサイトよこはま22の更新について

○ 横浜駅周辺を取り巻く状況

○ **事業、取組の進捗状況**

○ 社会情勢の変化

○ 横浜駅の位置付けと近年の動向

○ 更新の方向性とランドデザイン

更新の視点

更新の視点

更新の視点

反映

2 エキサイトよこはま22の更新について

○ 事業、取組の進捗状況

西口駅前では、民間開発にあわせて各取組や関連基盤の整備が進みました。各事業、取組を今後更に推進するために、検証を深め、**視点①**改めて整備イメージや段階的整備の考え方を関係者間で共有する必要があります。

駅前広場再整備



馬の背の解消



鶴屋橋の架替え



ターミナルコアの整備



北幸線

路線バス集約化

地下駐車場連絡路

水辺の回遊空間

魅力的な通り整備

交差点改良

悠々回遊リンク

駅前広場の再編

支線1号線

河口部河川改修

国道横断デッキ

水上交通拠点

アクティビティ拠点

2 エキサイトよこはま22の更新について

- 横浜駅周辺を取り巻く状況
- 事業、取組の進捗状況
- **社会情勢の変化**
- 横浜駅の位置付けと近年の動向
- 更新の方向性とランドデザイン

2 エキサイトよこはま22の更新について

○ 社会情勢の変化 <公共空間活用・まちなかウォーカブルの推進>

クルマが優先する通行空間であった街路を、ヒト優先のストリートに転換し、イノベーションの創出やまちの求心力の根源となるような **視点② 居心地** が良く歩きたくなる「ウォーカブルな空間」とすることが、都市に求められています。

居心地が良く歩きたくなるまちなか

| | | |
|------------------|----------------|---|
| Walkable | 歩きたくなる | 居心地が良い、人中心の空間を創ると、まちに出かけたい、歩きたくなる。 |
| Eye level | まちに開かれた1階 | 歩行者目線の1階部分等に店舗やラボがあり、ガラス張りで見えれば、人は歩いて楽しくなる。 |
| Diversity | 多様な人の多様な用途、使い方 | 多様な人々の多様な交流は、空間の多様な用途、使い方の共存から生まれる。 |
| Open | 開かれた空間が心地良い | 歩道や公園に、芝生やカフェ、椅子があると、そこに居たくなる、留まりたくなる。 |

【イメージ例】

1階をガラス張りの店舗にリノベーションし、アクティビティを可視化
民間敷地の一部を広場化 (宮崎県日南市)

2つの開発の調整により
一体整備された神社と森 (東京都中央区)

駅前トランジットモール化と広場創出 (兵庫県姫路市)

道路を占用了な夜間オープンカフェ (福岡県北九州市)

公園を芝生や民間カフェ設置で再生 (東京都豊島区)

2 エキサイトよこはま22の更新について

○ 社会情勢の変化 「Zero Carbon Yokohamaの実現」

横浜市では、温室効果ガス排出量削減目標を2050年までに「実質ゼロ」、2030年度には「50%削減（2013年度比）」としています。

視点③ 脱炭素社会の実現に向け、重点的な取組の共有が必要です。

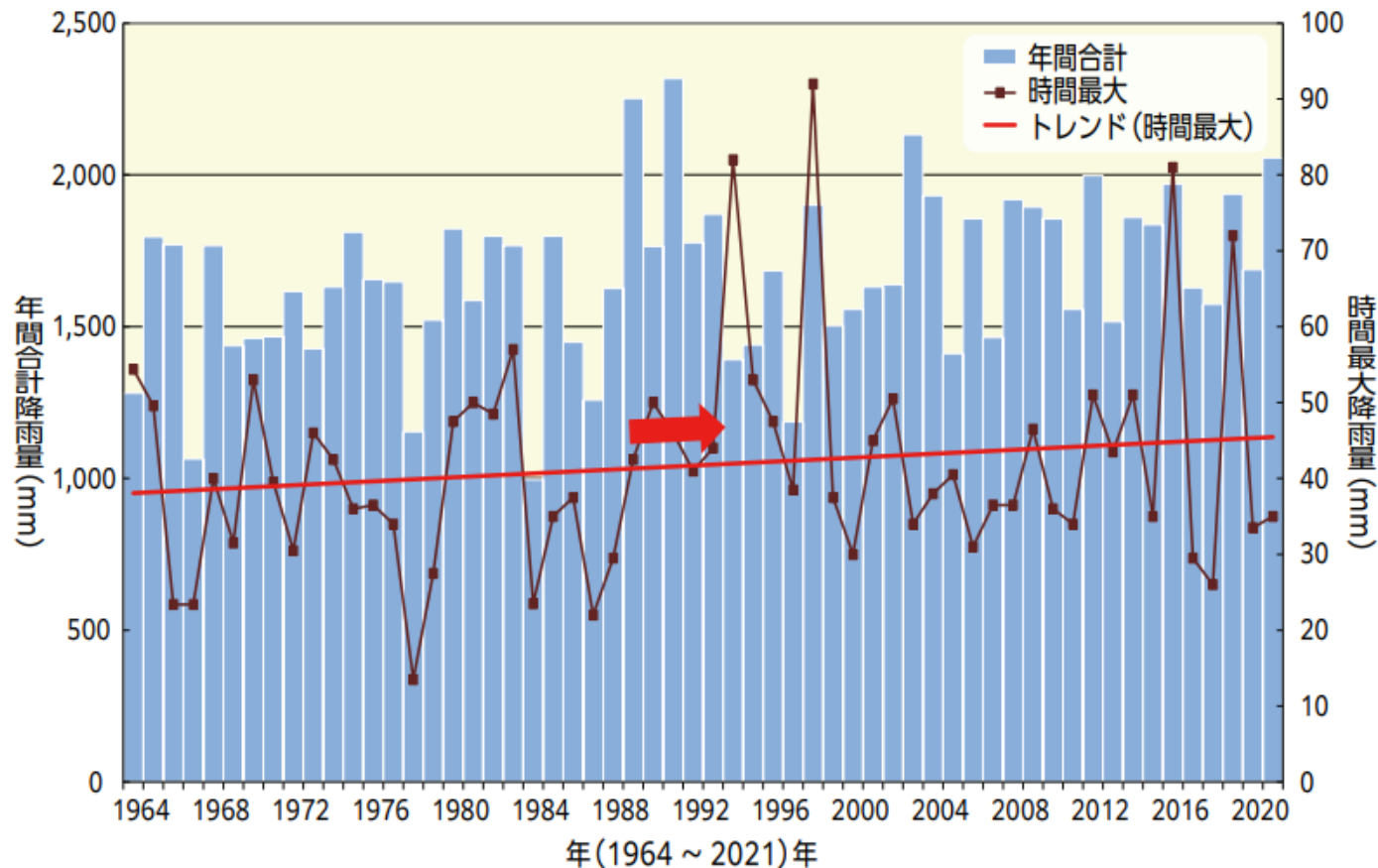


出典：地球温暖化対策実行計画（横浜市） 2030年度の取組イメージ

2 エキサイトよこはま22の更新について

○ 社会情勢の変化 <激甚化する災害への対応>

気候変動の影響により、時間最大降雨量が年々上昇傾向であるなど、災害が激甚化しており、**視点④** 早期に効果の発現が期待できる災害対策の実施が求められています。



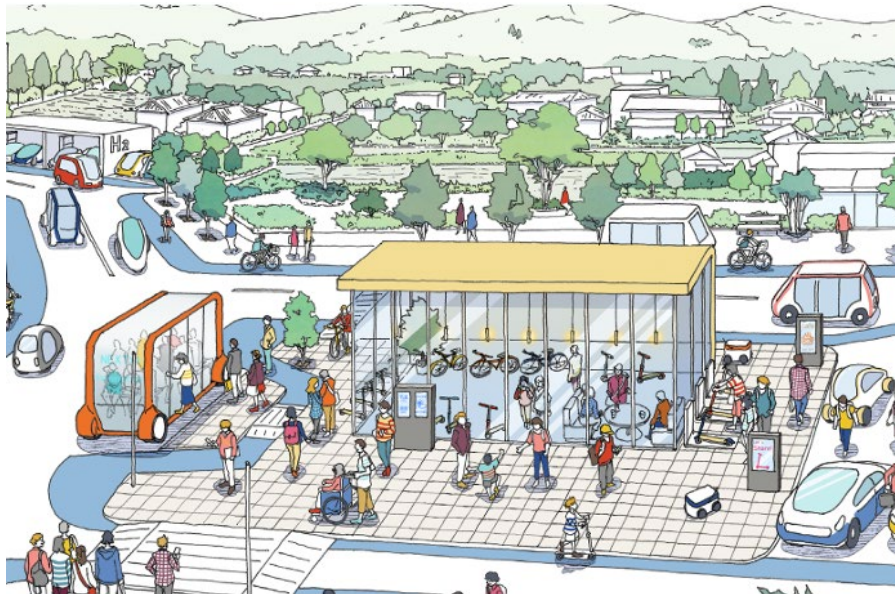
横浜市における時間雨量の最大値の推移

2 エキサイトよこはま22の更新について

○ 社会情勢の変化 <新たな交通モードへの対応>

自動運転・パーソナルモビリティ等の新たな交通モードや、MaaS等のサービスにより、個人のニーズにあった交通サービスの提供が可能となっています。

視点⑤ 新たな交通モードに対応し、また、その特性を生かしたヒト中心の交通施策への転換を図っていく必要があります。



様々な交通モードの接続・乗り換え拠点（モビリティ・ハブ）



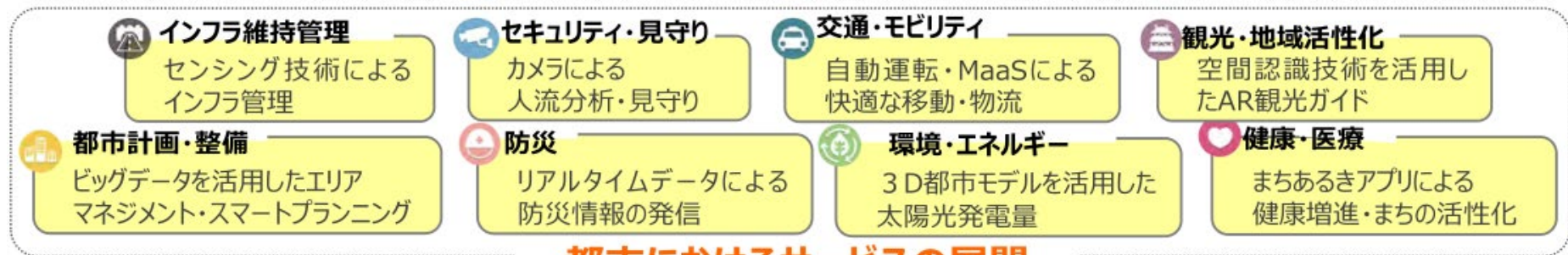
MaaSや自動運転に対応した人が主役の都市交通ターミナル

出典：2040年、道路の景色が変わる／国土交通省

2 エキサイトよこはま22の更新について

○ 社会情勢の変化 <都市のDX化への対応>

デジタル化の進展に伴い、都市においてデータを取得し、解析を行うことで地域課題の解決につなげていくことが可能となります。
デジタル技術を活用した都市課題の検証・分析や、効率的な対応策の実施等 **視点⑥** デジタル技術を活用してまちづくりを推進する必要があります。



都市空間



都市におけるサービスの展開



サイバー空間（3D都市モデル）



出典：スマートシティ実装化支援事業／国土交通省

2 エキサイトよこはま22の更新について

- 横浜駅周辺を取り巻く状況
- 事業、取組の進捗状況
- 社会情勢の変化
- **横浜駅の位置付けと近年の動向**
- 更新の方向性とランドデザイン

2 エキサイトよこはま22の更新について

○ 横浜駅の位置付けと近年の動向

横浜駅は首都圏有数の乗車人員数に加え、都道府県別の高速バス路線数においても、首都圏主要駅周辺では東京、新宿に次ぐ規模があります。近年、高速バスターミナルの整備が進み、その需要が高まっており、横浜駅においても **視点⑦** 都市間アクセスの強化が必要です。

池袋駅

- ・ 駅乗車人員数：約130万人/日
- ・ バス路線数（都道府県別）：21

新宿駅

- ・ 駅乗車人員数：約180万人/日
- ・ バス路線数（都道府県別）：38



出典：国土交通省 記者発表資料(H29.9.1)

渋谷駅

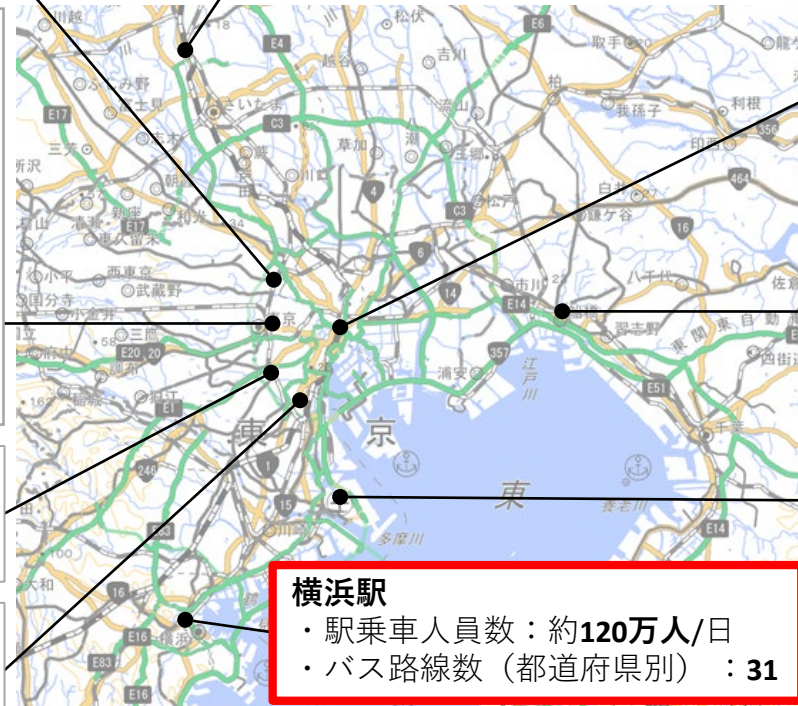
- ・ 駅乗車人員数：約170万人/日
- ・ バス路線数（都道府県別）：13

品川駅

- ・ 駅乗車人員数：約60万人/日
- ・ バス路線数（都道府県別）：9

大宮駅

- ・ 駅乗車人員数：約40万人/日
- ・ バス路線数（都道府県別）：20



横浜駅

- ・ 駅乗車人員数：約120万人/日
- ・ バス路線数（都道府県別）：31

出典：国土地理院 地理院地図を基に作成

東京駅

- ・ 駅乗車人員数：約80万人/日
- ・ バス路線数（都道府県別）：39



出典：(独)都市再生機構 報道発表資料(R4.3.15)

西船橋駅

- ・ 駅乗車人員数：約25万人/日
- ・ バス路線数（都道府県別）：19

羽田空港

- ・ バス路線数（都道府県別）：21



出典：住友不動産商業マネジメント(株) 報道発表資料(R5.1.1)

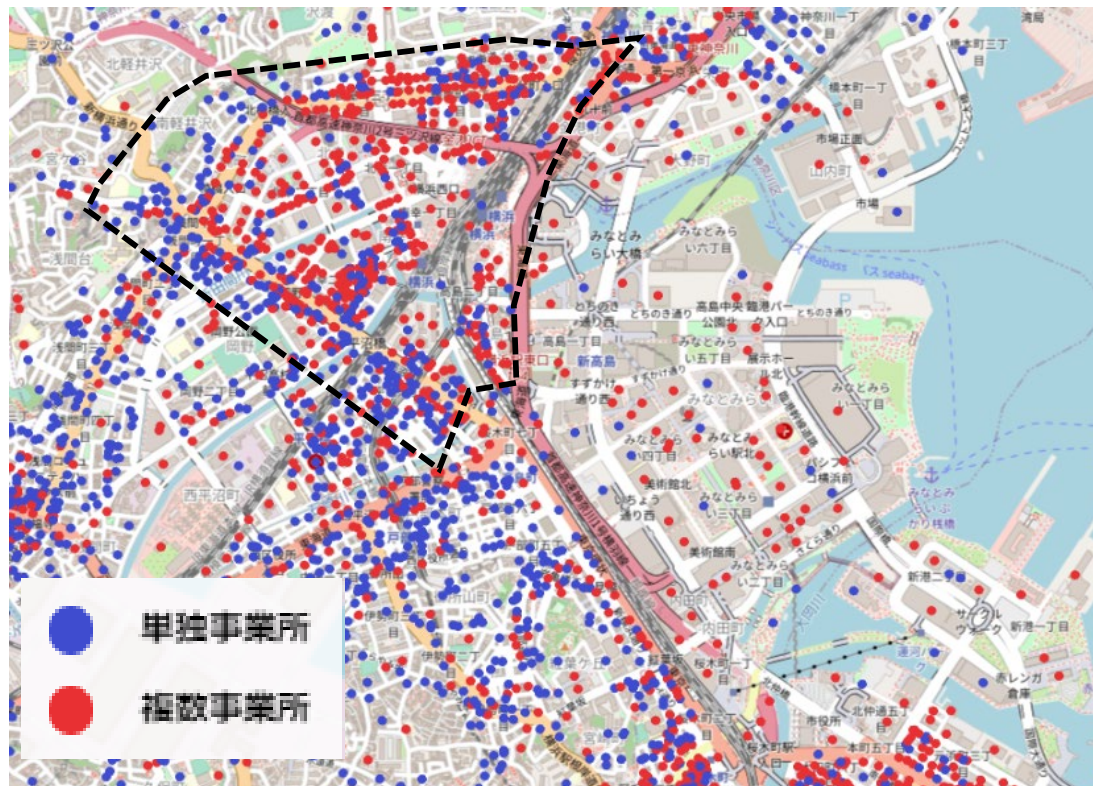
2 エキサイトよこはま22の更新について

○ 横浜駅の位置付けと近年の動向

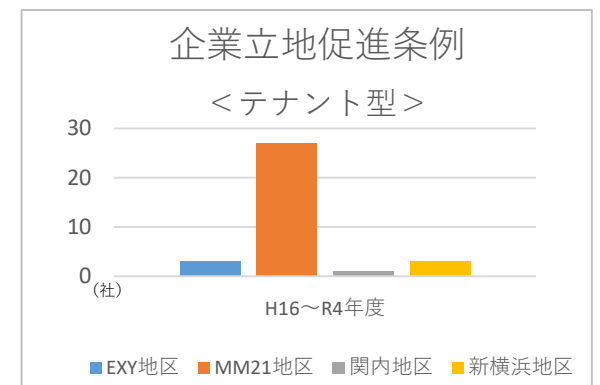
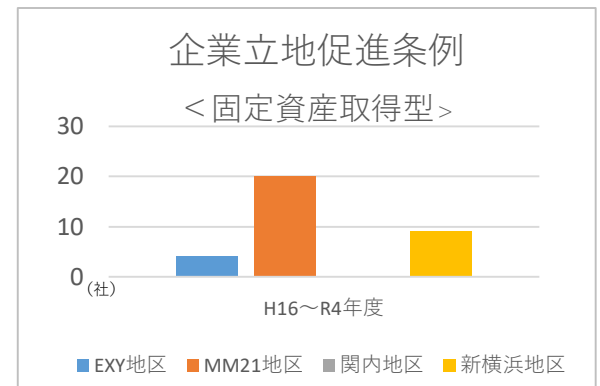
横浜市の経済を牽引する都心臨海部では、企業誘致を進めてきており、みなとみらい21地区がその受け皿となっていました。

みなとみらい21地区が概成を迎える中、**視点⑩** 企業誘致の新たな受け皿を整備していく必要があります。

■ 都心臨海部における事業所の立地動向



※RESAS（事業所立地動向図/2021年時点）より

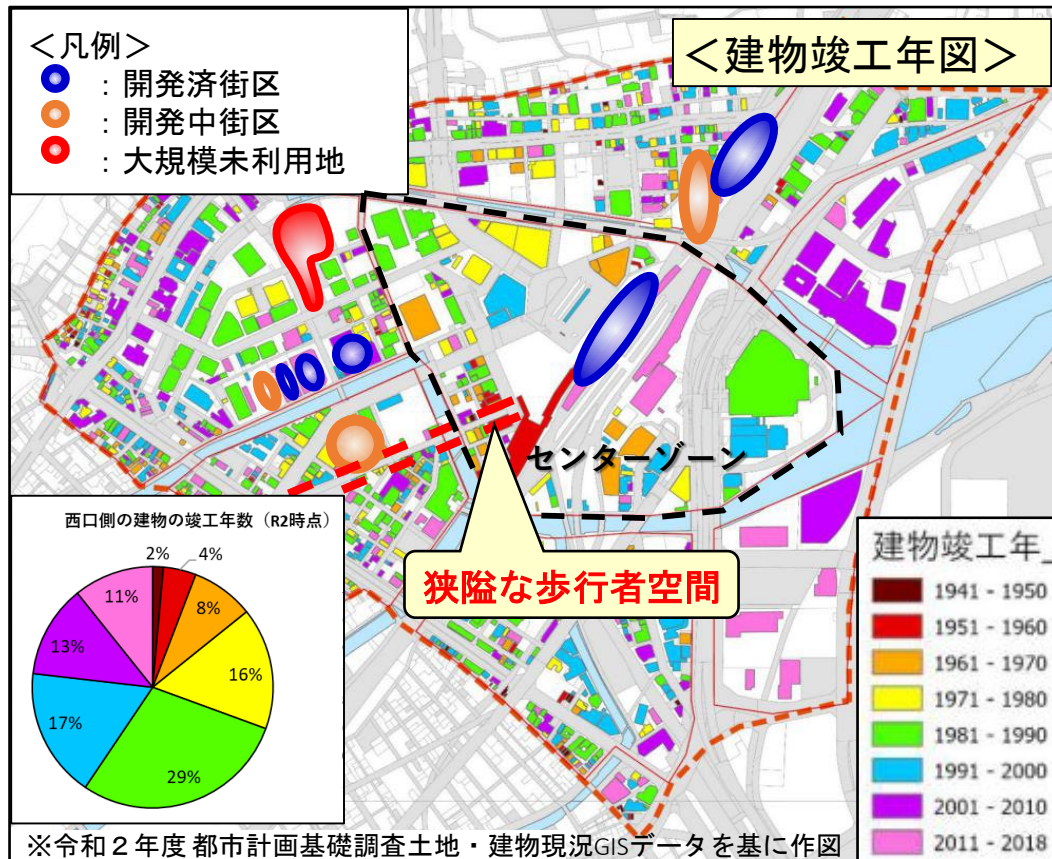


2 エキサイトよこはま22の更新について

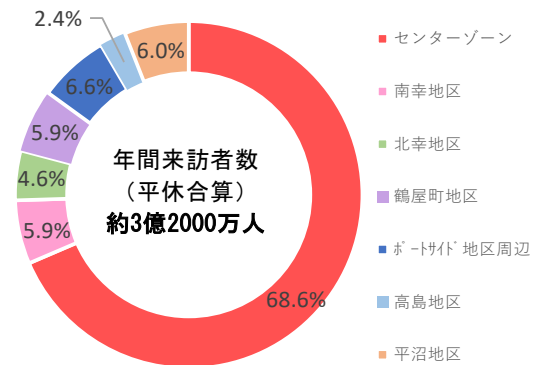
○ 横浜駅の位置付けと近年の動向

西口駅前が開発が進みましたが、地区全体では建物の老朽化や狭隘な歩行者空間等課題が残っています。また、来訪者の滞在状況を分析すると約7割がセンターゾーンに集中しています。

視点⑩ 駅前の賑わいを周辺に波及させ、開発を促進する必要があります。



<来訪者の滞在状況の分析>



◎来訪者の約7割がセンターゾーンに集中している。

※ KDDI Location Analyzerにより分析
※分析期間はR3. 9/25~R4. 9/24の1年間
※20歳未満の傾向は分析結果に含まれないため、参考値扱い

2 エキサイトよこはま22の更新について

- 横浜駅周辺を取り巻く状況
- 事業、取組の進捗状況
- 社会情勢の変化
- 横浜駅の位置付けと近年の動向
- **更新の方向性とランドデザイン**

2 エキサイトよこはま22の更新について

○ 更新の方向性とランドデザイン

まちづくりビジョン

更新の方向性

1. 横濱中心戦略

- ・都市間アクセスの向上 **視点⑦**
- ・企業誘致の受け皿の整備 **視点⑩**

2. 環境創生戦略

- ・脱炭素社会の実現に向けた重点的な取組の共有 **視点③**

3. 安全安心戦略

- ・早期に効果の発現が期待できる災害対策の実施 **視点④**

4. 感動空間戦略

- ・公共空間活用、まちなかウォークブルの推進 **視点②**

5. 悠々回遊戦略

- ・駅前からの賑わいの波及 **視点⑪**
- ・他地区との連携 **視点⑧**、都心臨海部回遊性向上 **視点⑨**

6. 交通転換戦略

- ・新たな交通モードへの対応、ヒト中心の交通施策への転換 **視点⑤**

7. 協働共創戦略

- ・デジタル技術を取り入れたまちづくりの推進 **視点⑥**

2 エキサイトよこはま22の更新について

○ 更新の方向性とランドデザイン

各事業、取組を今後更に推進するため、計画の更新にあわせて、事業の進め方等を共有するため、ランドデザインを作成します。**視点①**
今年度、ランドデザイン【骨子】を作成し、これを議論のたたき台として関係者の皆様との意見交換を通じて作業を進めて参ります。

